

令和8年度 東北地区会講演会

河川と森林の管理と環境保全を考える

参加費無料でどなたでも参加できます

開催日 令和8年8月30日（日）

時 間 午後 14:00 ～ 16:30 (地区会総会含む)

会 場 東北大学 片平キャンパス 生命科学プロジェクト総合研究棟（D04）

CPD 学会のCPD発行予定 ※建コン協会のCPD発行はございません。

申込締切

: 令和8年8月26日（水）

東北地区会 講演会 プログラム（予定）

現地開催 ※WEB配信はございません。

【開会のご挨拶】 東北地区会長 占部城太郎（東北大学名誉教授） 14:00～14:05

小森 大輔 先生（東北大学・災害科学国際研究所） 14:05～15:05

「流木流出プロセスの解明と資源化を視野に入れた森林管理戦略」

近年激甚化する土砂流木災害に対し、全国212ダムの解析と統合モデルにより発生から長期的蓄積に至る流木動態プロセスと予測手法を確立した。また、流木の発生源管理を見据え、亜臨界水技術による高付加価値資源（畜産飼料・フルボ酸等）への利活用の産官学合同の取り組みを紹介する。本講演では、流木流出メカニズムの解明を軸に、減災と資源化が両立する持続可能な流域治水および森林管理の展望を論じる。

東 信行 先生（弘前大学・農学生命学部） 15:05～16:05

「これからの魚道 — 小さな生き物も取りこぼさない魚道づくりの新しい視点 —」

従来より魚道はサケやアユなど水産重要種を対象に発展してきた。一方で、河川生態系を考えると、様々な魚類や甲殻類などが不自由なく移動できることこそが重要であることは間違いない。特に河川下流では、ハゼ類・カジカ類・エビ類・カニ類などが稚子のフェーズで通過する。現時点でもそれを意識した対応は試みられてきたが、全体としては不十分である。本セミナーはこれからの魚道設置のコンセプトや新しいタイプの工夫を紹介する。

講演会後(5分休憩)に地区総会を行います（議題: 受賞の報告・地区会長・地区委員の候補推薦・会計報告） 16:10～16:30

会場アクセス



- 地下鉄南北線「五橋駅」北2・北4出口より徒歩約10分
- 地下鉄東西線「青葉通一番町駅」南1口より徒歩約10分
- JR仙台駅 西口より徒歩約15分
- 市営バス「東北大学正門前」下車すぐ（D04は正門付近）

申込み方法【参加費無料】

参加をご希望の方は、下記QRコード
またはURLよりお申込みください。



お申込みはこちら

または、申込URL

: <https://forms.gle/CqwgENvN69rRhbtK7>